



可燃ごみ及び資源物の分別排出調査結果

令和2年10月に町環境委員が実施した可燃ごみおよび資源物の分別調査結果をまとめたところ、以下のような結果となりました。

大部分の方々が分別ルールを守ってくださっている結果となりましたが、リサイクル可能な紙類やプラ容器の分別については、まだ定着しきっていない様子が見受けられました。

今後も町民一人ひとりがルールを守り、ごみの正しい出し方、ごみの減量化を心がけるようお願いします。

■可燃ごみ(主な状況及び意見)

- ・不透明な袋など、中身が見えない袋で排出されている。
- ・雑紙類やプラ容器の混入が目立つ。
- ・生ごみの混入が見られ、液漏れや悪臭などが発生している。
- ・朝8時以降にごみ出しするケースが見受けられる。



令和2年10月の調査結果	不適正割合
生ごみ等、厨芥(ちゅうかい)類の混入率	6.4%
リサイクル可能な紙類(資源物)の混入率	30.4%
プラ容器の混入率	24.2%
不燃ごみの混入率	2.6%

■資源物(主な状況及び意見)

- ・雑紙や段ボールなどの古紙が種類分けされずに排出されている。
- ・雨の日に古紙と古布がそのままの状態では排出されている。
(古紙・古布は濡れると再利用できないため、雨の日はビニール袋に入れてください。)
- ・洗浄されていないビン、缶、ペットボトルが排出されている。
- ・古紙、古布が紐で縛られずに出されている。
- ・飲料以外のビン・缶、プラ製のボトル(プラ容器)が排出されている。



令和2年10月の調査結果	不適正割合
キャップやラベルがついたままのペットボトルの混入率	3.9%
ふたがついたままの空きびんの混入率	4.7%
ビニール袋にはいったままコンテナに出された資源物の混入率	2.5%
缶詰や粉ミルク缶など不燃ごみの混入率	2.8%
古布に破れや汚れのある衣類の混入率	1.3%